

2010年3月28日

天声教会 1部日本語礼拝 週報

〒231-0058 神奈川県横浜市中区弥生町 2-17 ストークタワー大通り公園 I -201
TEL/FAX 045-326-6211

メッセージ概要

マルコ11:12~14、20~25 いちじくの木を呪う

福音書の中では、病を癒したり悪霊を追い出したり等、イエスの祝福の奇跡は多く見るが、呪いの奇跡を行ったのは、このいちじくの木のみである。いちじくの季節ではなかった、とあるので、実が無いのは当然でありイエスが呪った行動は、粗暴とも見られる。なぜイエスはそのような行動を取ったのか。詳しく見てみたい。

いちじくは年に2回実を結ぶ。

冬の収穫は6月、夏の収穫は9月頃であるが、そのまま落果せずに越冬しサイズを増すものもある。

イエスは、冬になってもしっかり結びついている実を探していたと思われるが、この木は、いちじくの葉ばかりに覆われていて、実は無かった。

いちじくの葉といえば、創世記3:7にて人が自分の考えで取り繕った場面を思い出す。人の取り繕いに覆われ、イエスの食物となる実のない木は、呪われてしまうのだ。イエスの食物とは何か。ヨハネ4章を開きたい。

34節によると、父の御心を行ってそのわざを為す事がイエスの食物である。

また35節では、まだ刈入れの時期ではないと言っている弟子達に、既に刈入れの時期が来ている事を弟子達に述べている。

人の考えている収穫の時期と、主の収穫の時期とは、違うのである。

しかも、「種をまいて育てる」という労苦は、既に主が為してくださっておられる。(38)

御心とは人が勝手に考え出す事ではなく、主から一方的に与えられるものであり、御心を求めるには、自分を降ろし、父に求める事である。

主でさえ、自分の心ではなく父の御心が成るようにと求めた。(マタ26:39)

神の御心を行う人こそ、イエスの兄弟、姉妹、また母である。(マルコ3:35)

御心を行わず自分のわざを行う者は、いくら「主よ、主よ」と言ってもイエス様に「知らない」と言われてしまう。(マタイ7:21)

主の御心に沿った祈りは、人の繕いや欺瞞に満ちた木を枯らし、立ちほだかる山を海へ動かす。(マルコ11:22-)

主は、人が清く健やかになる事を、望んでおられる。

その主の御心を盾に取り、私達の癒し、健やかさを祈りもとめたい。

And behold, a leper came and worshiped Him, saying, "Lord, if You are willing, You can make me clean."

Then Jesus put out His hand and touched him, saying, "I am willing; be cleansed."

Immediately his leprosy was cleansed. マタイ8:2, 3

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

| | |
|-------|---------------------------|
| 賛美 | ホザナ |
| 賛美 | モア・ザン・イナフ |
| 霊の祈り | |
| 使徒信条 | 会衆一同 |
| 交読文 | 47 |
| 祈り | |
| メッセージ | 御心を求める(マルコ11:12~14、20~25) |
| 祈り | |
| 賛美 | 満たしてくださる方 |
| 主の祈り | 会衆一同 |
| 祝福の祈り | メッセンジャー |
| 報告 | |

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、囚われの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽

祝福の御言葉 下線を自分にあてはめて祈りましょう

どうか父が、その栄光の豊かさに従い、御霊により、力をもって、あなたがたの内なる人を強くしてくださいますように。こうしてキリストが、あなたがたの信仰によって、あなたがたの心のうちに住んでいてくださいますように。また、愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、すべての聖徒とともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、人知をはるかに越えたキリストの愛を知ることができますように。こうして、神ご自身の満ち満ちたさまにまで、あなたがたが満たされますように。

どうか、私たちのうちに働く力によって、私たちの願うところ、思うところのすべてを越えて豊かに施すことのできる方に、教会により、またキリスト・イエスにより、栄光が、世々にわたって、とこしえまでありますように。アーメン。(エペソ3:16-21)

